

2018年2月9日現在

凡例：

- 海域の名称
- M7.5程度 3%程度以下 30年以内に地震が起こる確率
- 地震規模（マグニチュード）

確率は2018年1月1日起点



北海道北西沖
M7.8程度
0.006%~0.1%

十勝沖から択捉島沖
M8.8程度以上
7%~40%

色丹島沖及び択捉島沖
M7.7~8.5 前後
60%程度

根室沖
M7.8~8.5 程度
80%程度

十勝沖
M8.0~8.6 程度
8%

三陸沖北部
M8.0 前後 Mt8.2 前後
4%~20%
(繰り返し発生する地震以外の地震)
M7.1~7.6 90%程度

(注1) Mt：津波の高さから求める地震の規模

宮城県沖
M7.4 前後 発生確率は不明
(繰り返し発生する地震以外の地震)
M7.0~7.3 60%程度

三陸沖南部海溝寄り
M7.9 程度 ほぼ0%
(繰り返し発生する地震以外の地震)
M7.2~7.6 50%程度

三陸沖北部から房総沖の海溝寄り津波地震
Mt8.6~9.0
30%程度
(特定海域では7%程度)

正断層型
M8.2 前後 Mt8.3 前後
4%~7%
(特定海域では1~2%)

秋田県沖
M7.5 程度
3%程度以下

安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震
M6.7~7.4 40%程度

日向灘のプレート間地震
M7.6 前後 10%程度

佐渡島北方沖
M7.8 程度
3%~6%

南海トラフの地震
M8~M9 クラス
70%~80%

東北地方太平洋沖型
Mw8.4~9.0
ほぼ0%

茨城県沖
M6.9~7.6 70%程度
(繰り返し発生するプレート間地震)
M6.7~7.2
90%程度以上

福島県沖
M7.4 前後 (複数の地震が続発)
10%程度

相模トラフ沿いのM8クラスの地震
M8クラス (M7.9~M8.6)
ほぼ0%~5%
プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震
M7程度 (M6.7~M7.3)
70%程度